

当院で行う疣贅（いぼ）治療

（尋常性疣贅：じんじょうせいゆうぜい＝ヒトパピローマウイルス感染症）

この病気はウイルス感染による良性腫瘍（できもの）です。感染力は強くありませんが、放っておくと大きくなったり他の部位へ移ったりします。現在確立された治療法がなく、医療機関によって様々な治療法が行われております。どのような治療法でも中々治らなかつたり、治癒に数年もかかる難治性のイボもあります。患者様の症状や部位、治療経過などにより治療法を選択し、また組み合わせで行います。

1.液体窒素凍結療法

簡便かつ効果的で、最も標準的な治療法です。

治療は週1回ですが1～2ヵ月間が治癒の目安です。治療時には必ず痛みを伴います。

2.サリチル酸含有貼付剤

角質融解作用のある薬剤で局所の免疫を高める作用もあり24時間貼付し続ける必要があります。液体窒素凍結療法よりも効果は落ちますが、通常痛みを伴いません。

3.活性化ビタミンD3外用

細胞増殖抑制作用と局所の免疫を高める作用のある薬剤です。単純な塗布では効果が弱いので外用後サランラップで密閉させるか、2.のサリチル酸含有貼付剤と併用します。通常痛みは伴いませんが、治療には3ヵ月以上を要し根気が必要です。

4.イミキモド外用

抗ウイルス作用のある薬剤です。3.同様サリチル酸含有軟膏貼付剤との併用で治療します。

炎症を惹起させていぼを退治させるので痛がゆくなることがあります。治療は2～3ヵ月を目安としています。

5.トリクロロ酢酸外用療法

組織に腐食性のある薬剤を貼付し、週1回の通院時に処置をします。薬剤の浸透性を高めるために、サリチル酸含有貼付剤を2日間ほど貼り続けてもらいます。経過中に痛みを伴う場合があります。

6.CO2レーザーによる焼灼+くりぬき除去法

局所麻酔を行った後にレーザーでくりぬきます。いぼは直ぐに取れますが創の治癒に10日程かかります。痛みは麻酔時のみです。

7.漢方薬（薏苡仁湯：ヨクイニンエキス）

体の免疫を高めることでいぼを退治します。上記すべての治療に並行して飲み薬として使います。

